

学友会報

発行
兵庫県立大学 学友会
神戸市西区学園西町8丁目2-1
電話 078-793-5081

令和4年10月27日に前学友会会長 池野忠司氏のご逝去されました。
副会長、会長と歴任の上、ご尽力いただきました。謹んでお悔やみ申し上げます。 合掌



学友会の原点に立ち返って

兵庫県立大学 学長 太田勲

本学名誉フェローの池野忠司氏が去る令和4年10月27日に逝去されました。衷心より哀悼の意を表します。同氏は前身の神戸商科大学商経学部を昭和43年に卒業され、食品（パン・菓子）工業界で顕著な功績を挙げられる一方で、本学の経営審議会委員や学友会会長などを歴任され、本学の運営に多大な貢献をされました。

同氏は神戸商大系の同窓会「淡水会」会長をお務めになる傍ら学友会第2代会長として、全同窓生の本学の施設見学を兼ねたキャンパス巡りや県大バスの導入を先導されるなど、前身3大学を含めて同窓生や在学生在が、兵庫県立大学の名の下で一体感を高めるよう腐心されました。また、その強い愛校心から、経営審議会等で、受験記事を特集する週刊誌の表紙に兵庫県立大学名が記載されていないなどのお叱りを受けたこともありました。現在は、毎年載っていますが・・・

本学は、来年度開学20年目を迎えます。既に15回に亘って兵庫県立大学として総計約2万人の卒業生を送り出しています。今の30歳代以下の若い方にとって、神戸商科大学も姫路工業大学も兵庫県立看護大学も遠い昔の話です。旧3大学の出身者が社長等に就任されて新聞等に掲載されるときは旧大学名の後に必ず括弧付で現兵庫県立大学と記載されます。前身大学の同窓生の皆様におかれましては、青春を共有した友人との学びの故郷を大事にされると同時に、学友会活動にも深いご理解とご支援、ご協力をくださいますようよろしくお願いいたします。

学友会発足時に、その規程で「本会は、・・・同窓生、在在学生及び教職員の学部等を超えた交流と親睦を図り、全同窓生の益々の活躍に資するとともに、県立大学との緊密な連携・協力のもとにその発展を支援し、もって広く社会の発展に貢献することを目的とする。」と謳っています。20年の歴史を積み重ねてきた、いま、もう一度この原点に立ち返って、関係者全員が兵庫県立大学の発展とプレゼンスの向上に努めなければならないと考えています。

本学には旧3大学の統合に加えて、15キャンパスが兵庫県下全域に散在するという困難な事情がありますが、大学本部を与る者として、その重要性に鑑み、学生、教職員の一体感の醸成に努めています。3つの副専攻（地域創生人材、グローバルリーダー、防災リーダー）による全学部横断的な教育プログラムや部活動の一体化に加えて、学業成績優秀者や研究活動、課外活動、社会活動などで顕著な業績・功績を挙げた学生の表彰などを行なっています。

全ての学生が兵庫県立大学に入学して良かったという思いを胸に抱いて、本学から世界へ羽ばたいていくことを願っています。



第10号によせて

兵庫県立大学学友会 会長

岡村武和

2022年2月突如ロシアがウクライナに対して侵略戦争を開始して、まもなく1年が経過しようとしています。多くの犠牲が生まれている中、いまだに収束の様子は窺えません。この侵略戦争による食糧・燃料の不足により、世界の状況は一変してしまいました。国連の機能は失われ、社会の分断が始まり、これからの21世紀は不透明感がぬぐえませんが、日本に目を向けると、2022年11月次・次々世代半導体に向けた国策会社「ラピダス」が発表されました。日本の半導体産業は「10年遅れ」と言われているようですが、遅れを取り戻せる様頑張ってもらいたいと期待されます。日本の自動車産業・半導体産業はこれからの時代を牽引する主要産業であり、世界で勝負出来る様に成長を期待するものであります。その中でも「電池」「半導体」「水素」「多様性」の4つがキーワードになると考えます。改めて大学の役割の重要性がもとめられる時ではないでしょうか。

姫路工学キャンパスにおいて新しい建屋の建設・最新の研究設備に約164億円、神戸商科大学キャンパスにおいて国際学生寮16億円、情報科学研究棟10億円と、総額190億円が投資されました。

世界はまさに多様性の産物です。その多様性の中で持てる国と持てざる国があるという事です。言い換えれば、先進国と発展途上国との「格差」問題です。人類は70億に達しました。先進国の人口は減少に向う一方で途上国の多くが人口増加に向かいます。先進国がいかに途上国を支えていくかが重要になっていますが、なかなか国の事情により折り合いが付きそうにありません。ここに「多様性」を体感した神戸商科大学キャンパスの学生がこれからの時代の価値観を共有することにより、次世代を担う人材として社会において活躍するものと信じます。

社会はクリーンエネルギーへの転換期をむかえています。「再生エネルギー」により発電された電気で水素が作り出され、水素社会が2050年頃到来すると言われてしています。

姫路工学キャンパスにおいても「電池」と「水素」がキーワードになっていると聞いております。科学技術の発展なくして成長なしと言われる様に、燃料の産業革命が始まっています。しかも世界の開発のスピードに負けない様に頑張らなければ、すぐにとりのこされてしまうでしょう。すばらしい環境と設備が整い、21世紀SDGsにむけて、兵庫県立大学の益々の発展を期待します。

県大バス 活躍



県大バスは令和元年に導入され、フィールドワークやゼミ活動、課外活動等において県立大学の学生・教職員が幅広く利用しています。この2年程は新型コロナウイルス感染症のため利用制限を行っていましたが、本年度は制限が緩和され、しっかりと個々に感染対策を取ったうえで令和4年8～9月はほぼ連日の利用がありました。全キャンパスの学生に活用され、充実した学生生活の一助となっています。

丹後大学駅伝



11月19日に開催された第84回関西学生対校駅伝競走大会に10年連続で出場することができました。22大学出場で22位と、期待に応えられるような結果とはなりませんでしたが、チームとしては今大会に出場できたことを誇りに思っております。来年度に向けましては、11年連続出場を目標にして、より一層精進してまいります。(駅伝主将)

今年は多くの1年生が入部し、この丹後路で貴重な経験を積むことができました。今回の結果をしっかりと見つめ直して、来年度以降大きく飛躍できるようにチーム一丸となって練習に励んで参ります。(駅伝主務)

令和4年度学友会理事会

5月24日、3年ぶりに対面審議にて行われました。

審議事項は次のとおりです。

1. 令和3年度事業及び決算報告
2. 役員人事
3. 令和4年度事業計画及び予算

審議の結果、全ての議案について承認可決されました。新役員は以下のとおりです。(敬称略)

会長	岡村 武和		
副会長	大西 洋二	木下 康子	
理事	高尾 直樹		
	ウィリアムソン 彰子		
	奈良崎大士	古川 直行	
	高尾 久徳	谷口 祐輝	
	高坂 誠	飯田 久夫	
監事	岡本 俊二	西埜 増宏	
顧問	太田 勲	瀧川 博司	

エコフェス 2022 <環境人間学部学部祭>

～夏だ！祭りだ！エコフェスだ！！～



ゆりのき会
自主講座
作品展示会



『浴衣で彩る、ひと夏の思い出』

7月3日に3年ぶりの対面参加で、エコフェスが開催されました。

ゆりのき会も協力参加し、梅雨の晴れ間に学生たちのにぎやかな声が聞こえ盛り上がりました。

ゆりのき会講座生は作品展示をして、欧風ししゅう、華道、書道、手描き友禅染め、パッチワーク等、力作が並びました。

また、『浴衣で彩る、ひと夏の思い出』と題したコーナーでは、ゆりのき会会員が浴衣着付けをサポートしました。学生との交流の場となると共にキャンパスが一気に華やかになりました。

《五国豊穡》～県立大学のお宝紹介～

明石看護キャンパス 学舎

平成5年、建築家 安藤忠雄氏によりすべてが設計されました。低層部は長いスロープや吹き抜け、円形のスロープなど安藤氏の得意とする手法がふんだんに使われています。また、安藤建築ではあまり見られないような高層棟があります。



住所等の変更は、学友会事務局へご連絡をお願いします。

同窓会活動の推進を図る目的のために保有する学友会会員の個人情報については、個人情報保護法の主旨に則り、適切な管理を行っています。

〒651-2197 神戸市西区学園西町8丁目2-1 兵庫県立大学神戸商科キャンパス内

Tel&Fax:078-793-5081

E-mail:gakuyuukai@gk.u-hyogo.ac.jp

<https://www.gakuyuukai.org/>